

産地パワーアップ事業評価書(収益性向上対策)

都道府県名	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
鳥取	10	6	4	45.4%	3	有	2	<p>県平均達成率が目標未達成となった。未達成となった要因は、豪雨被害による生産量の低下や生産者の高齢化や予期せぬ生産者の離脱等による栽培面積の減少等であると判断する。一方で、そういったマイナス面をこの事業によって補い成果を出している産地もあり、未達成である取組主体に対しては好例として参考にしながら、適期防除の実施や担い手の確保等、引き続き目標達成に向けた多面的な指導・支援を行う。</p>	<p>評価対象となる4地区について、成果目標の平均達成率は45.4%となっており、未達成であった。未達要因は、豪雨被害による生産量の低下や生産者の離脱による作付け面積の減少等によるものと思われる。達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
島根	10	5	5	53.4%	3	有	3	<p>県平均達成率が目標未達成となった。松江市（トマト・アスパラガス）については、アスパラガスは、株養成などに伴う出荷量の減少が、トマトは、酷暑による品質の低下が主な要因である。飯南町（トマト・パプリカ）については、病害の発生により出荷量が減少したこと、また新規就農者の確保に苦慮し、生産を伸ばせなかったことが主な要因である。出雲市（アスパラガス）については、R3年秋の斑点病による春芽の出荷量の減少と夏季の高温による病害虫や異常茎の発生が多く夏芽収量が減少したことが主な要因である。成果目標が未達成となった地区に対しては、目標達成に向け関係機関と連携し、指導を行う。</p>	<p>評価対象となる5地区について、成果目標の平均達成率は53.4%となっており、未達成であった。未達要因は、猛暑による品質低下、病害虫の発生、新規就農者の確保不足等によるものと思われる。達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
岡山	14	14	0	-	-	-	-	-	-

都道府県名	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
広島	11	8	3	57.8%	2	有	2	<p>県平均達成率が目標未達成となった。未達となった要因として、排水不良、病害虫の発生、燃油高騰、高単価品目での契約不調が影響したと考えられる。成果目標が未達成となった安芸高田市農業再生協議会に対しては、目標達成に向けて引き続き関係機関が連携して指導を行う。</p>	<p>評価対象となる3地区について、成果目標の平均達成率は57.8%となっており、未達成であった。未達要因は、排水不良、病害虫の発生等によるものと思われる。達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>
山口	0	0	0	-	-	-	-	-	-
徳島	2	1	1	100.0%	0	無	0	<p>県平均達成率は100%と達成となった。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は100.0%となっており、達成であった。</p>

都道府県名	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
香川	5	2	3	35.0%	2	有	2	県平均達成率が目標未達成となった。 野菜（アスパラガス、ミニトマト）において、病害の発生による収量の低下や、資材費の高騰による作付面積の減少していることから、未達成の産地については、早期の目標達成に向け、適期防除や作付け拡大に向けた指導・助言を行うとともに、本事業で設置した栽培施設の生産量が安定かつ増加するよう関係機関と連携して、生産者を支援する。	評価対象となる3地区について、成果目標の平均達成率は35.0%となっており、未達成であった。 未達要因は、病害虫の発生、資材高騰による作付面積の伸び悩み等によるものと思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。
愛媛	3	3	0	-	-	-	-	-	-
高知	9	9	0	-	-	-	-	-	-

産地パワーアップ事業評価書(中間評価)

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アイ	成果目標の 平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導 を必要とし た地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
岡山	3	0	3	33.3%	-	-	2	<p>県平均達成率が未達となった。 未達となった要因として、夏季の高温による生産量の減少及び品質の低下などが原因と考える。 成果目標が未達成となった農業再生協議会に対しては、生産量及び品質の向上について、関係機関と連携して指導等を行う。</p>	<p>評価対象となる3地区について、成果目標の平均達成率は33.3%となっており、現時点で成果目標は達成していない。 目標年度において達成となるよう指導を依頼する。</p>

産地パワーアップ事業評価書(生産基盤強化対策)

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の 平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導を 必要とした 地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
徳島	1	0	1	84.5%	1	有	0	<p>県平均達成率は、未達成となった。 新型コロナウイルス感染拡大による米の業務用需要の減少による作付面積の減少が要因である。 今後は、新規需要米への作付転換の推進等、引き続き関係機関が一体となり目標達成に向け指導を行う。</p>	<p>評価対象となる1地区について、成果目標の平均達成率は84.5%となっており未達成であった。 未達要因は、新型コロナウイルス感染症による業務用需要の低下に伴う作付面積減少等と思われる。 達成できなかった事業取組に対し、県において継続的な改善措置を依頼する。</p>

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会(収益性向上対策)

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R4)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
鳥取県	八頭町	八頭町農業再生協議会	1	露地野菜(白ネギ)	販売額の10%以上の増加 (目標: 10%増加)	98,979千円/10a (H29)	109,283千円/10a	94,283千円/10a	-45.6%	栽培面積が現状値よりも減少し、目標の出荷量には到達できなかったため、成果目標は未達成となった。 引き続き、新規就農者確保に向けた取組や、収量向上の技術対策等に重点を置いた改善指導を関係機関で連携して行う必要がある。 併せて、近年多発している気象災害に対する防災、減災の取組についても強化を促す。
	北栄町	北栄町農業再生協議会	1	野菜(長芋)	販売額の10%以上の増加 (目標: 13.2%増加)	1,099千円/10a (H29)	1,244千円/10a	844千円/10a	-175.9%	選果場の導入により選果機能が向上し、出荷品のキズや腐れがなくなり、市場評価や販売価格を維持できた。しかし、7、8月の豪雨被害により腐れや枯死が発生し、著しく収量が下がり、成果目標は未達成となった。 出荷品のロスは少なくなったことから、収量を確保できれば目標達成可能と考えられるため、引き続き指導、助言を行う。
島根県	松江市	松江地域農業再生協議会	1	施設野菜(トマト・アスパラガス)	販売額の10%以上の増加 (目標: 17.4%増加)	12,500,686円 (H30)	14,680,606円	13,965,604円	67.2%	栽培管理による出荷の抑制と、酷暑の影響による品質劣化に伴う単価の低下により、目標達成状況が67.2%と低調となった。 今後は、栽培管理技術の向上と単価向上に向けた取組を検討する必要があるため、松江地域農業再生協議会を指導する。
	飯南町	飯南町地域農業再生協議会	2	トマト、パプリカ	販売額の10%以上の増加 (目標: 59.3%増加)	38,308,000円 (R1)	61,054,000円	29,597,409円	-38.2%	病気の発生による出荷量の減少と、新規就農者の確保に苦戦したことにより、目標達成状況が-38.2%と低調となった。 今後は、病害虫対策及び適期管理による単収向上と新規就農者の獲得に向けた取組を検討する必要があるため、飯南町農業再生協議会を指導する。
	出雲市	出雲市農業再生協議会	7	アスパラガス(施設栽培)	販売額の10%以上の増加 (目標20.3%増加)	56,204,000円 (R1)	67,621,000円	54,186,000円	-17.7%	病気や病害虫の発生による収量の低下が要因となり、目標達成状況が-17.7%と低調となった。 今後は、病害虫対策及び栽培管理技術の向上の観点から改善策を検討する必要があるため、出雲市農業再生協議会を指導する。

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R4)	事業実施後(目標年度)	目標達成 状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
広島県	安芸高田市	安芸高田市農業 再協議会	4	野菜(レタス)	販売額の10%以上 の増加 (目標:5719.3% 増加)	826千円 (R1)	48,058千円	37,417千円	77.4%	取組主体において、ロメインレタスは計画以上の販売額となったが、レタスが排水不良とそれに伴う病害虫の発生による数量の伸び悩み、リーフレタスの契約不調が影響し、成果目標は未達成となった。 今後は、取組主体に対し、土壌改良並びに経営面積拡大の支援を実施するとともに、技術指導を実施することで目標達成を実現できるように協議会を指導する。
			5	施設野菜(青ねぎ)	販売額の10%以上 の増加 (目標:14.1%増 加)	1,232,372千円 (R1)	1,405,944千円	1,046,057千円	-107.4%	夏期の高温により軟腐病等の病害が発生したこと、燃料高騰により生育遅延が発生したことが影響し、目標未達成となった。 今後は、春期のベッドクリーニング、若苗の定植、高温対策等の病害が発生しにくい栽培方法の指導等の実施、また、燃油高騰の影響緩和のために、セーフティネット事業への加入推進によって、目標達成を実現できるように協議会を指導する。
香川県	綾川町 坂出市 宇多津町	綾川町地域農業 再生協議会、坂出・宇多津地域 農業再生協議会	1	野菜(アスパラガス)	販売額の10%以上 の増加 (目標:10.2%増 加)	1,587千円/10a (H30)	1,749千円/10a	1,290千円/10a	-183.4%	R3年度に発生した褐斑病による樹勢の低下で年度当初の「春芽」の収量及び品質が低下し、出荷量及び単価が増加しなかったため目標未達成となった。 早期の目標達成に向け、適期防除に取り組むよう指導・助言を行うとともに、本事業で設置した栽培施設の生産量が安定かつ増加するよう関係機関と連携して栽培管理を指導するなど、生産者を支援する。
	さぬき市 東かがわ市	さぬき市地域農業 再生協議会・東かがわ市地域 農業再生協議会	1	野菜(ミニトマト)	販売額の6%以上 の増加 (目標:14.3%増 加)	318,488千円 (R元)	364,004千円	323,272千円	10.5%	生産経費の高騰による品目転換や、ハウス資材費の高騰により増反の動きが鈍く作付面積が減少したことから、目標未達成となった。 取組主体の動きかけにより、支援利用者の目標は達成しており、今後は産地全体でも目標達成できるよう、関係機関が連携してJAインターン制度や各種補助事業等を推進し、新規生産者の増加及び既存生産者の作付け拡大を図ること、JAへの出荷の呼びかけ及び出荷支援の活用推進、適期収穫による大玉化など収量性向上に伴う反収の向上が図れるように指導・助言を行う。

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会(中間評価)

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
岡山県	井原市	井原市地域農業生産協議会	1	果樹(ぶどう)	販売額の10%以上の増加 (目標:12.0%増加)	1,141,440円/10a (H29年)	1,278,572円/10a (R5)	933,735円/10a (R4)	-151.5%	夏季の高温少雨による着色不良や小粒傾向により、出荷量が目標を下回ったことから達成状況が-151.5%と低調となった。 今後、生産安定に向けて井原市、JAと連携し、高温・乾燥対策や病虫害対策について栽培技術指導を行う。
	新見市	新見市農業再生協議会	1	果樹(ぶどう)	販売額の10%以上の増加 (目標:13.4%増加)	1,053,989千円 (H29年)	1,195,600千円 (R5)	1,007,755千円 (R4)	-32.7%	新たな担い手確保が進まなかったことや夏季の高温少雨による着色不良や小粒傾向により、面積及び生産量が目標水準に達しなかったため、達成状況が-32.7%と低調となった。 今後、目標達成に向けて新見市、JAと連携し、新規就農者の確保や生産安定に向けて、相談会、現地見学会を開催するとともに、高温・乾燥対策や病虫害対策について栽培技術指導を行う。